

要 望 活 動 全 体 報 告 書

<p>実施日及び 要望先</p>	<p>緊急要望活動 令和5年1月31日（火） 文部科学省 顧問国会議員事務所</p>
<p>要 望 者</p>	<p>会津総合開発協議会 会 長 会津若松市長 室井 照平 会津若松地方部会長 会津若松議会議長 清川 雅史 喜多方地方部会長 北塩原村長 遠藤 和夫</p>
<p>要 望 事 項</p>	<p>原子力損害賠償紛争審査会中間指針第5次追補について</p>
<p>要望の様子</p>	<p>○文部科学省</p>  <p>井出 庸生 文部科学副大臣 へ要望書を提出しました。</p> <p>※ 菅家一郎衆議院議員及び秘書様に御案内、御協力をいただきました。</p>

文部科学省

様


要望書



令和5年1月31日

会津総合開発協議会

会長 会津若松市長 室井照平

表紙の「」は昭和47年公募により制定された会津総合開発協議会のシンボルマークです。

会津総合開発協議会は、誇りうる郷土会津の輝ける明日を拓くため、「会津はひとつ」の理念のもと、昭和38年に当時の全会津28市町村が集結し結成した団体です。これからも、郷土愛と地域開発へのあふれる情熱、そして各市町村の強固な結束力を糧として、郷土の発展を願い活動してまいります。

原子力損害賠償紛争審査会中間指針第5次追補について

昨年12月20日、国の原子力損害賠償紛争審査会より、東京電力福島第一原発事故に伴う賠償基準である中間指針の第5次追補が決定、公表されたところであります。

この中で、自主的避難等による精神的被害については、自主的避難等対象区域だけでなく、全ての県民に共通していることから、地域の分断を生まないよう福島県を通じて要望してきたところでありますが、今般の見直しにおいては、これまでの要望が受け入れられなかった内容となっており、大変残念な思いであることから、下記の事項について強く要望します。

記

- 1 原子力損害賠償紛争審査会に対して、今後も被害実態に見合った指針の見直しを行うこと。
- 2 東京電力ホールディングス株式会社に対して、中間指針があくまでも賠償範囲の最小限の基準であることを踏まえ、自主的避難等による精神的被害に対しての賠償については、福島県民が共通して被害を受けている実態を十分に勘案し、指針に示されなかった地域においても、被害者視点に立った対応を行わせること。

会津総合開発協議会 役員名簿

会	長	会津若松市長	室井照平
副	会 長	喜多方市長	遠藤忠一
	〃	檜枝岐村長	星 明彦
	〃	西会津町長	薄 友喜
	〃	湯川村長	三澤豊隆
会津若松地方部	会長	会津若松市議会議長	清川雅史
喜多方地方部	会長	北塩原村長	遠藤和夫
南会津地方部	会長	只見町長	渡部勇夫
理	事	喜多方市議会議長	渡部勇一
	〃	下郷町長	星 學
	〃	下郷町議会議長	小玉智和
	〃	磐梯町長	佐藤淳一
	〃	北塩原村議会議長	小椋 眞
	〃	昭和村長	舟木幸一
	〃	湯川村議会議長	斎藤賢一
監	事	猪苗代町議会議長	渡辺真一郎
	〃	金山町議会議長	五ノ井義一

会津総合開発協議会 会員名簿

(市町村長)

(市町村議会議長)

会津若松市長 室井照平

会津若松市議会議長 清川雅史

喜多方市長 遠藤忠一

喜多方市議会議長 渡部勇一

下郷町長 星 學

下郷町議会議長 小玉智和

檜枝岐村長 星 明彦

檜枝岐村議会議長 星 松夫

只見町長 渡部勇夫

只見町議会議長 大塚純一郎

磐梯町長 佐藤淳一

磐梯町議会議長 鈴木久一

猪苗代町長 前後 公

猪苗代町議会議長 渡辺真一郎

北塩原村長 遠藤和夫

北塩原村議会議長 小椋 眞

西会津町長 薄 友喜

西会津町議会議長 清野佐一

会津坂下町長 古川庄平

会津坂下町議会議長 水野孝一

湯川村長 三澤豊隆

湯川村議会議長 斎藤賢一

柳津町長 小林 功

柳津町議会議長 齋藤正志

三島町長 矢澤源成

三島町議会議長 青木喜章

金山町長 押部源二郎

金山町議会議長 五ノ井義一

昭和村長 舟木幸一

昭和村議会議長 馬場政之

会津美里町長 杉山純一

会津美里町議会議長 横山知世志

南会津町長 渡部正義

南会津町議会議長 室井嘉吉